



# カリオカの風

リオデジャネイロ日本人学校通信

12月号

令和7年12月5日

校長 小堺 広司

学校教育目標

「やさしく

かしこく

たくましく」

～世界の架け橋となる子ども

たちの育成を願って～



## 実り多き1年に感謝、良いお年をお過ごしください！

2学期を振り返るとたくさんの行事がありました。日伯友好130周年・節目の年に、たくさんの方々と触れ合う中で、子どもたちは大きく成長できました。

実り多き1年を支えてくださった皆さまに感謝いたします。

子どもたちは、様々な教育活動を通して、確実に大きく成長しています。認め、励まし、自立の力を養い、子どもたちの成長をこれからも支えてまいります。

この1年、保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。新年からも日々怠ることなく丁寧な教育活動を続けてまいります。

### ○ 読書のすすめ

上皇后美智子様は国際図書評議ニューデリー大会基調講演で、「子供時代の読書は楽しみを与え、青年期の読書の基礎を作ってくれました。ある時には根っこを与え、ある時には翼をくれました。この根っこ翼は、私が外に内に橋をかけ、自分の世界を少しずつ広げて育っていくときに、大きな助けとなってくれました。読書は、人生の全てが、決して単純でないことを教えてくれました。私たちは、複雑さに耐えて生きていかなければならないということ。人と人との関係においても。国と国との関係においても。」と話されました。

11月、クリチバ補習校を訪問した時、中村校長先生にお話を伺うと、美智子様から直接絵本「はじめてのやまのぼり（作美智子様）」を手渡していただいたそうです。補習校には数冊在庫があり、今回学校移転に伴い蔵書整理をしている中、この絵本をリオ日学に寄贈していただきました。また、五商社会が本校を訪問された際、「りんごかもしれない」「ルドルフとイッパイアッテナ」を寄贈いただきました。海外子女教育振興財団の補助で新刊書を購入し、2025年年間ベストセラーに入った「大ピンチずかん」「国宝」が蔵書に加わりました。この夏休みに読書を楽しみましょう。



### ＜終業式校長講話より 12月5日＞

年の終わりと新しい年に向けて「志を持つ」ことについて話します。

私は、11月の連休中、クリチバ補習校で授業をしてきました。その時、クリチバ日伯寺という浄土宗のお寺さんで「鯉のぼり」をいただきました。住職の大江田さんと話す中で、ご出身が宮城県仙台市のお寺さんと伺い、もしや東日本大震災の時、クリチバにいらっしゃっていたのでは？と尋ねると、その通りで、故郷を思う気持ちがあっても、遠く離れたブラジルからでは祈るしかなかったそうです。しばらくしてから仙台に帰ったとき、震災を目の当たりにして成すすべく、たどり着いた考え方が「水が半分入ったコップ」の見方だったそうです。

①半分しか水が入っていない。気にいらない（否定）

②半分も入っている。うれしい（肯定）

③だれかが半分も残してくれた。ありがたい（感謝）  
コップに半分の水が入っていることをどうとらえるかに正解はなく、それは皆さん自身が決めることです。ただし、志を持つためには今の自分を否定するよりも、次の可能性に向けて、「これからだ」と気持ちを切り替えて前に進めるかどうかなのです。震災から14年、被災された方々は、何度もコップの水を思い、気持ちを奮い立たせて今を生きていらっしゃるのですね。

もうひとつのお話です。警備員のマルコスさんは敬虔なクリスチャンです。彼は毎日私のためにご自身が考えた言葉を送ってくれます。その中に、

A nossa maior glória não reside no fato de nunca cairmos, Mas sim em levantarmo-nos sempre depois de cada queda.

私たちの最大の栄光は、決して転ばないことではなく、むしろ、転ぶたびに必ず起き上がることです。

É preciso sonhar, é preciso acreditar, é preciso lutar. E se a vitória não vier hoje, vem amanhã. O importante é continuar tentando...!

夢を見なければならない、信じなければならない、戦わなければならない。勝利が今日もたらさなかったとしても、明日はやってくる。大切なのは、挑戦し続けること...!

私は気持ちがぐじけそうなとき、この言葉に出会い「転んでもいいんだよ。また頑張ればよいのだから」というように考えて気持ちが楽になりました。皆さんもこの夏休みに、いろいろな人生の節目を迎えることもあると思いますが、「志を持つ」ことに恐れることなく、チャレンジしましょう。

それではみなさん、12月31日の大晦日、この1年リオデジャネイロ日本人学校で経験したことを思い出しながら、今に感謝して、新しい年を迎えましょう。1月1日元日「志」を持ち、自分らしく過ごせる1年となることを祈りましょう。良いお年を。